

令和6年度 学校経営計画書

新見市立新見南中学校

1 本校のミッション（使命）切り拓く体験

令和の5年間、世界や社会、経済の情勢を瞬く間に変える出来事に遭遇した。予測困難な社会という言葉を実感として実感し、**変化に対応する力**とともに**普遍的本質を養う**学校の責務を感じる。こうした中で、多様な個性や環境にある生徒一人ひとりに「確かな学力」「豊かな心」、「健やかな体」、すなわち、これから生きる、これからをともに生きる人々を支えるために、**不易と流行**を見据え、学びの主体となる「**人間力**」を育むことが本校に課せられた使命である。そのために、本校教育に携わる全ての教職員が、学校経営に積極的に参画し、**使命感**を持って自らの資質能力を磨き、生徒のためにより良い教育活動を創造する必要がある。

また、保護者、地域、関係機関との連携を深め、生徒が地域に関心を持ち、様々な課題を自分事として考え、地域の方々との**協働的な活動**を通して、社会や自己に対する理解を深めさせたい。小中高連携の推進も生徒のキャリア形成にとって重要な取り組みと捉える。育てたい生徒像を明確にして、学校、保護者、地域が協力し、信頼関係を基盤とした教育を実践により、学校教育目標である「**希望ある未来を切り拓く生徒の育成**」を達成することができると考える。

2 内外の環境分析

本校は、新見市の南部に位置し、旧4中学校の広域な学区を持つ。サッカー場や陸上競技場などのスポーツ施設（防災公園兼用）と緑豊かな自然に囲まれた恵まれた環境の中にあり、学校統合の結果、平成22年に開校して本年度で15年目を迎える。生徒は全体的に素直で、学校行事や部活動にも積極的に取り組んでいる。約3割の生徒がバス通学であり、遠隔地から通学する生徒もいる。広範囲な学区であるが、地域民の学校への関心は高く、協力的である。平成28年度から中学校区で小中一貫教育がスタートし、義務教育9年間を見通した教育が推進されている。保護者は教育熱心で各種行事やPTA活動に協力的で、同じく平成28年度にスタートした**学校運営協議会**制度（CS）の機能や地域との連携を生かした取組も求められ、地域の**公民館を拠点とした交流活動**等を行っている。令和4年度から、学校や教室に行きにくい生徒の居場所となり、教室復帰や自立を応援するための部屋として、**ステップルーム**を設置している。

3 本校のビジョン（学校像・生徒像）

学校教育目標である「希望ある未来を切り拓く生徒の育成」を具現化するために、生徒に**確かな学力**と**心豊かでたくましく生きる**「**人間力**」の育成を図るとともに、教育活動全体を通して、生徒が“切り拓く”体験に挑戦をし、それを自身の未来に生かそうとする態度を育む。そのために「学校力」と「教師力」を高め、地域に関かれ、地域に根ざした信頼される学校をめざす。

【本校がめざす学校像】

- 生徒が行ってよかったと思える学校
- 保護者が行かせてよかったと思える学校
- 教職員が勤務してよかったと思える学校
- 地域の方が誇れる学校
- 掃除**と**あいさつ**が誇れる学校

【本校がめざす生徒像】

- あいさつ**、**返事**を日常的にする生徒
- 思いやり**をもって、物事に取り組む生徒
- 課題の解決に**協働**して取り組む生徒
- 課題の解決に**挑戦**しようとする生徒
- 心身を鍛え、健康で**元気**な生徒

4 今年度の具体的な取組・計画

(1) 落ち着いた学習環境の確保(落ち着いたクラス)

- 学習規律**を遵守し、積極的に学習活動に取り組む生徒を育成する。
- 生徒が課題探究・解決へ主体的・協働的に取り組み、達成感、自己肯定感を味わえる授業づくりを進める。
- 生徒指導・特別支援教育の視点を取り入れた授業づくりを工夫する。
- 安全で、整頓された教室等の学習環境をつくる。

(2) 安心して生活できる学校づくり(指示が通るクラス)

- いじめ問題対策基本方針に基づき、日常のきめ細やかな観察や教育相談をとおして**いじめの未然防止・早期発見・早期対応**に心がける。
- 「いじめを考える集会」や「人権集会」、いじめに関するアンケートの実施を年間計画に適切に位置づけ、生徒の人権意識の高揚を図る。
- 学校生活、社会生活のルールやマナーなど規範意識の高揚を図る。
- 多様性についての理解を進め、お互いを認め合いながら共に生きようとする態度を育成する。
- 自立応援室「ステップルーム」の機能を生かし、不登校、不登校傾向の生徒の居場所づくりと教室復帰、自立の支援・応援を行う。

(3) 学力の定着・向上(授業と家庭学習へのリンク)

- 「学び合い」のある授業づくりを進めるとともに、協働の目的を明らかにし、その効果を生徒も実感できる**授業改善**について研修を深め、授業力向上を目指す。
- IWB やタブレット端末 (iPad) を効果的に活用し、基礎的内容の定着と自己表現力の向上を図る。
- 対話する力**を養うため、対話場면을積極的に設け、“話す、聞く、やり取りする”ルーブリックの有効活用や外部講師などの活用によりスキルアップと自信を高めさせる。
- 課題の工夫や保護者・地域・小学校との連携により、家庭学習に主体的に取り組む態度を育てる。
- 家庭学習時間を確保する観点から、生活習慣の見直しやスマホ・ゲーム・メディア等の利用についての指導と保護者への啓発を継続する。

(4) 心豊かで自律できる生徒の育成(思いやりのある絆づくり)

- 生徒が自分の責任を果たし、互いに高め合い認め合う集団を育成する。
- 基本的生活習慣(**あいさつ・会釈・時間・身だしなみ・整理整頓**)の定着、「凡事徹底」を図る。
- 道徳の時間を要とした道徳教育の充実を図り、道徳的心情、判断力、実践意欲などの道徳性を養う。
- 生徒会活動や学級活動などの特別活動を充実させ、生徒の自治的な活動を推進する。制服変更に合わせ、校則の改定等を行う。改定に生徒が主体的にかかわれる仕組みをつくり実践する。
- 掃除やボランティア活動**の意義を理解し、主体的に取り組む意欲を養う。
- 論語教育**を通して、規範意識や思いやりの醸成を図り、よりよい生き方を希求する態度を養う。

(5) 教育相談や各種検査等による効果的な支援(気軽に相談できる雰囲気づくり)

- 発達段階を踏まえた生徒理解に努め、**生徒と教師、生徒同士の好ましい人間関係**を構築する。
- 教育相談を計画的に実施し、生徒理解会議で全職員が情報を共有する。
- SC と連携し、SC による心理教育プログラムや定期教育相談を実施する。
- 学習状況調査や i-check 検査の結果を学級・学年で効果的に活用する。
- 保護者や関係機関と日常的に連携し、協力体制のもとで課題解決を図る。

(6) 心身を鍛え、健康でたくましい生徒の育成(部活動への積極的な参加)

- 教科、部活動や学校行事などをとおして**健康な心身**を育てる。
- 栄養教諭やゲストティーチャーを活用し、専門的な見地から性教育、**食育**などの充実を図る。

(7) 地域と連携した教育活動の展開(学校運営協議会の充実)

- 新見南中学校区小中連携教育の充実を図る。
- 学校運営協議会**(CS)の機能を生かし、地域学習“なんプロ”の充実を柱とする地域協働型の活動を実現し、併せて開かれた学校づくりを促進させる。
- ふるさとキャリア教育や学区内各地区 **公民館交流**などをとおして、地域についての理解を深める。地域理解の深化を通して、グローバルな視点への発展や自己の探究などにつなげたい。
- ふるさとキャリア教育を体系的に推進し、自己実現していくために必要な資質能力や態度を育成するとともに、地域産業への関心を深める。

(8) 危機管理と防災教育の実施(安全な学校づくり)

- 防災や熱中症予防、感染症予防について**未然防止のための指導と迅速な対応**を行う。
- 保護者を含め、**情報モラル教育**を進め、ネット被害やSNSのトラブル防止に努める。
- 地域と連携し防災教育の推進を図る。

(9) 働き方改革(生徒と向き合う時間の確保)

- 全教職員が健康に働けるため、**時間外業務を減少**させるため、行事の精選・内容の見直しや効率的・組織的な業務のあり方について検討し実践する。